

## 四国圏域生態系ネットワークの推進状況

### ◇第1回四国圏域生態系ネットワーク推進協議会の概要

近年、四国圏域にはコウノトリ・ツル類の飛来が多く見られ、飛来地域の自治体やNPO・関係団体等によって、繁殖や越冬環境の創出を目指す取組やそれらの活動を通じた地域振興・活性化のためのさまざまな取組が四国各地で活発化しています。

四国圏域において、各流域に飛来するコウノトリ・ツル類を指標種として、その安定的な生息に向けた地域間の情報交換やさまざまな活動を通じて、生態系ネットワークを形成し、魅力的な四国づくりを実現するために、「四国圏域生態系ネットワーク推進協議会」が2018年2月に設立され、会議が開催されました。

#### 第1回四国圏域生態系ネットワーク推進協議会の概要

開催日時	2018年2月5日（月）14:00～16:00
開催場所	サンポート高松合同庁舎 13階 1306・1307 会議室
出席者	<p>■委員（敬称略）</p> <p>鈴木幸一（愛媛大学 名誉教授）：会長  武藤裕則（徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授）  河口洋一（徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授）  泉理彦（鳴門市長）  岩浅嘉仁（阿南市長）  小野英樹（三豊市長 ※代理：副市長）  玉井敏久（西条市長）  河野敏雅（西予市長 ※代理：副市長）  中平正宏（四万十市長）  井口三郎（農林水産省中国四国農政局 農村振興部長 ※代理：農村環境課長）  植松龍二（国土交通省四国地方整備局 河川部長）  島本和仁（国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所長）  香川正好（国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所長 ※代理：副所長）  野本粹浩（国土交通省四国地方整備局 那賀川河川事務所長）  宇賀神知則（環境省中国四国地方環境事務所 高松事務所長）  久米正浩（徳島県 県土整備部長 ※代理：県土整備部河川整備課長）  山本晶（香川県 土木部長 ※代理：土木部次長）  山下勝徳（愛媛県 土木部長 ※代理：土木部河川港湾局長）  岩崎哲史（高知県 土木部長 ※代理：土木部河川課長）  柴折史昭（コウノトリ定着推進連絡協議会）  大西玉喜（四国経済連合会 常務理事）  森雅也（四国ツーリズム創造機構 事業推進本部 本部長代理 ※代理：副本部長）  網本邦広（四国電力株式会社総合企画室 環境部長）  佐伯達雄（四万十つるの里づくりの会 事務局長）  矢本賢（日本野鳥の会香川県支部 支部長）  三宅武（日本野鳥の会徳島県支部 支部長）</p> <p>■事務局  四国地方整備局河川部、（公財）日本生態系協会</p>

議事	<p>(1) 生態系ネットワークと「広域標準指標種」としてのコウノトリ・ツル類について</p> <p>(2) 四国圏域でのコウノトリ・ツル類の飛来生息と保全や地域づくりの取組状況について</p> <p>(3) 四国圏域生態系ネットワークの目標・展開方針（案）について</p> <p>(4) 四国圏域生態系ネットワークの推進体制・スケジュール（案）について</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系ネットワークというのは言葉が示しているように、小さなスケールから大きなスケールまでを見据えた上で、ネットワークというものが重層的に構築されている、ということが重要な点と思います。</li> <li>・ツルやコウノトリは地域からいなくなっておりかなり時間が経っているので、ハードを整備するだけでなく、それを受入れる社会をつくっていくということも、ハード整備と同じくらい、あるいはそれ以上に重要だと感じました。今回、こうした協議会が出来ましたので、人のネットワークの繋がりをもう一度認識していくということが非常に重要であると考えています。</li> <li>・生産者の方の営農環境の確保や優良農地の保全、コウノトリと地域住民との共存・共生等の課題解決には、四国圏域における生態系ネットワークの構築やコウノトリに食物を提供するための河川を基軸とした水環境の保全が重要と考えています。</li> <li>・地域住民、そして、未来を背負う子供達と一緒に進んでいける、そういったことが大きいのではないかと思います。</li> <li>・里山づくりや河川の整備等、あるいは四国遍路の誘客のための環境整備等も合わせて可能になるのではないかと大いに期待しています。</li> </ul>



◇四国圏域生態系ネットワークの展開スケジュール

四国圏域生態系ネットワーク推進協議会を年1回程度開催し、四国圏域における生態系ネットワークの形成を進めていきます。

